



時間を忘れるほど夢中でページをめくる幸せ。

学校読書調査によると、子供が1か月に読む本は小学生 8.6 冊、中学生 3.7 冊、高校生 1.7 冊と学齢が上がるほど少ない。

逆に、0 冊は小学生 5.4%、中学生 13.2%、高校生 47%と学齢が高いほど多いとのこと。

小学生は平均すると、4日に1冊を上回るペースで本を読んでいます。1冊のボリュームに差はあれ、私たち大人がこれほどのペースで果たして本を読んでいるのでしょうか？





涼しさが気持ちよく感じられるこの頃

本のある暮らしを愉しんでみませんか

たとえば、家づくりをお考えなら…

「頭のよ子が育つ家のつくり方」というタイトルではありますが、一度きりの人生をいかに有意義に過ごすことができるかを教えていただき、読み終えたあとに力が湧いてきました。（名古屋市 N様）

家を建てようと検討中ですが、気づかないうちに金額だけに目がいつていたような気がします。どういう暮らしがしたいのか、もう一度考えてみようと思います。（東京都 I様）

「200年住宅」という言葉だけで、どうせ200年も生きないのだから…と思っていましたが、この本を読んで200年住める家の素晴らしさがわかりました。一生に何度もない家づくりをするなら、こういう工法の家を建てたいと真剣に考えるようになりました。（磯子区 K様）

今、住んでいる家は冬、リビングから出るのがとても辛くなるほど、ドア1枚でかなりの温度差があります。足湯効果のある床暖房があれば、トイレに行ったりするのも苦痛でなく、お風呂上がりもあたたかいようなので、とても魅力を感じました。（旭区 Y様）



ゆったりした気持ちで読んでいただけます。